



島根大学に留学



FROM



出身国

マレーシア

アミラ・ナタシャ・ビンティ・チェ・アドナン

AMIRAH NATASHA BINTI CHE ADNAN さん

(総合理工学部 知能情報デザイン学科 ハイリンガル教育コース4年)

アメリカ(アーカンソー大学)に留学



TO



留学先

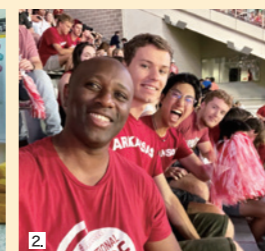
アメリカ

ふるかわ たかと

古川 喬登さん

(生物資源科学部 農林生産学科 3年)

1. 寮の友人と。2. 友人とアメフト観戦。キャンパス内には2万5000人収容のスタジアムがあり、とても盛り上がりました。3. 小学校でのプレゼンの様子。好奇心旺盛な地元の小学生に楽しく日本のことを紹介しました。



積極的な行動を心がけ
友人たちと充実した日々

島国の日本とは異なる大陸の自然と文化を、一年を通じて見てみたいと思いい、日本と同じ温暖湿潤気候に属し、自然豊かでカウボーイなどの文化も残る内陸の州・アーカンソー州への留学を希望しました。

授業では、使われる専門用語が難しいだけでなく、頻繁にプレゼンやテストが違った視点から知識を得ることができました。また、アメリカ人の親友や他国の留学生など、全く違う環境で生まれ育った世界中の人たちと、互いのすべてを語り合い心からの友人になれたことは自分の一生の宝です。休日は多くの友人が自宅に招待してくれたので、アメリカの食事や家庭、祝日の過ごし方を体験し、海外の価値観を学ぶことができました。授業期間が終了してから帰国までの間は、国立公園をめぐるながらアメリカを縦断し、大陸の雄大な自然をいくつも見ることもできました。

留学で経験し学んだことを今後の研究や人生に活かしていきたいです。

IT企業とのプロジェクトにも参加
留学で言語力や実践力が向上

日本は世界でも高度な技術とイノベーションで知られており、レベルの高い教育を受けたと思っていました。島根大学を選んだのはバイリンガルコースがあったからです。このコースでは、1年目は英語と日本語の両方で学ぶことができるため、日本語に自信がなかった私にとって、とても役に立ちました。

大学では、島根で有名なプログラミング言語・Rubyの授業や、県内のIT企業と協力してプロジェクトを共同構築する授業なども受講しました。Rubyを学び、地元IT企業と共同でプロジェクトに取り組んだことは、実践力を高める良い経験となりました。新しい環境に身を置き、新たな挑戦をすることで、新しい言語や文化に適應する能力が向上し、自分の力に自信が持てるようになりました。この経験を将来、国際IT事業や多文化コミュニケーションに活かして、IT業界内でのグローバルなコラボレーションを促進していきたいです。



1. 県内の学校で行われた国際交流イベントに参加した際のーコマ。生徒たちにマレーシア文化を紹介しました。
2. 居合道体験に参加した際の様子。